つばさ TSUBASA

令和２年度 生涯学習課だより

第342号（10月）

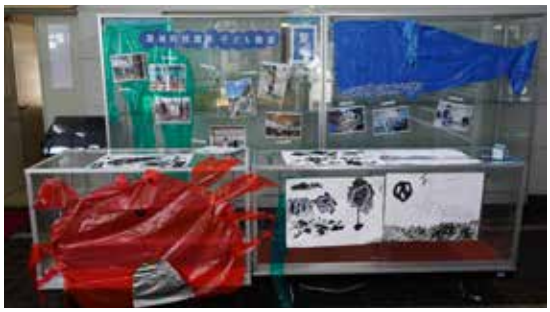
放課後子ども学習教室「寺子屋とようら」がスタートしています

8月25日より、中央公民館で放課後子ども学習教室『寺子屋とようら』が子どもたちの学力を高めることを目的にスタートし、元教員の唐津先生・高橋先生などが学習支援を行っています。

低学年は学校で出された宿題を、高学年はただ単に数式の丸暗記ではなく、「こうだからこうなる」という論理を探し出す力を鍛えるための問題を提供し、子どもたちに取り組んでもらっています。

詰まっていたり回答を間違えていたりすると、支援者が個別に考え方のヒントを出し、子どもが正解にたどりつくまで丁寧に考えさせていました。

放課後子ども教室の活動紹介



子どもたちの創造性あふれる作品や、教室で楽しそうに活動している様子の写真が、公民館一階の事務室横の展示スペースに展示されています。

思わずニヤリとしてしまうものばかりですので、ぜひ来館の際はご覧ください。

9月7・8・14・15日の4日間で野球少年団の入船監督の協力のもと野球体験が行われました。

低学年の子は初めてという子もいましたが、楽しそうに野球を体験していました。

礼文華遺跡調査説明会は中止となりました

北海道大学の小杉康教授らが行っている礼文華遺跡の発掘調査は、従来行っていた発掘場所から少し北側に位置した新しいエリアの調査をすすめることになり、8月25日（火）から9月5日（土）にかけて行われました。

残念ながら、例年9月上旬に行っていた発掘調査説明会は、新型コロナの影響もあり実施することができませんでした。来年度実施できたときには、礼文華におけるはるか昔の人々の暮らしぶりについて知る機会としてぜひご参加ください。新しい発見を楽しみに待ちたいものです。